

子宮頸がんは、
HPVワクチンで
予防できます。

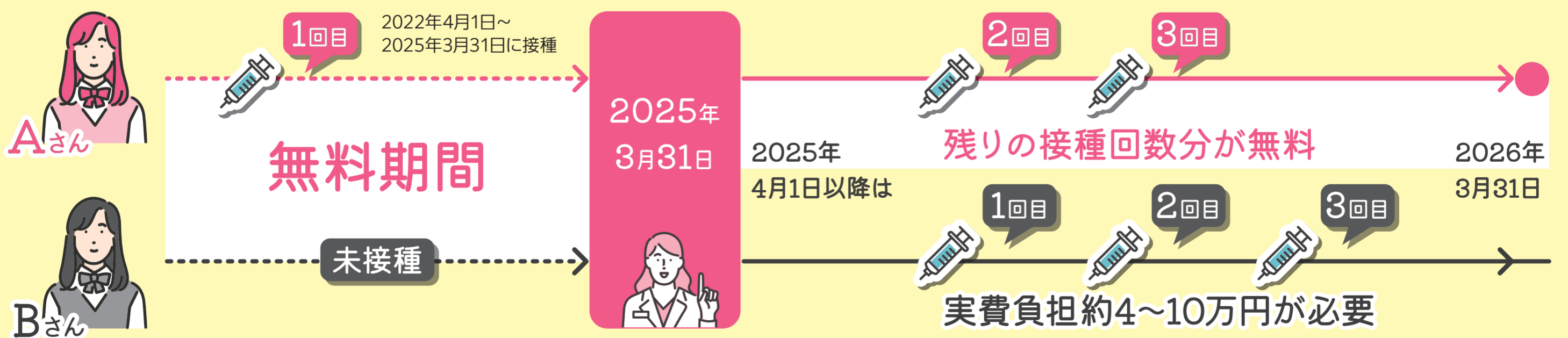
16歳～27歳の女性の方
(1997年4月2日～2008年4月1日生まれ)
キャッチアップ接種対象者の
**公費接種の期限が
迫っています!**

期日:2025年3月31日まで

上記期限までに1回以上接種した方は
2026年3月31日まで無料で接種が
可能になりました。



●**キャッチアップ接種対象者** 2024年度に16歳～27歳の方(1997年4月2日～2008年4月1日生まれ)



●**定期接種対象者** 2024年度に小学6年生～高校1年生相当の女子(2008年4月2日～2013年4月1日生まれ)

定期接種(無料)の期間は、高校1年生の3月31日までです。
高校1年生の9月までに1回目の接種を済ませることをおすすめします。

詳しくは厚生労働省のホームページへ

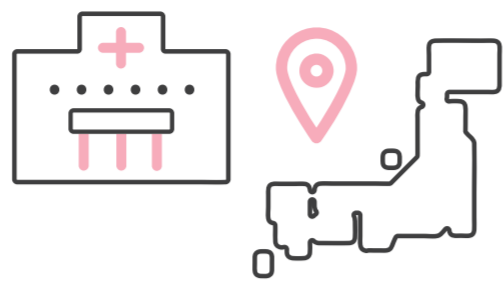
厚生省 HPV

検索



HPVワクチン接種の流れ

1. 病院を選ぶ



希望するHPVワクチンの接種ができる医療機関を探しましょう。予防接種を行っている医療機関がわからない場合は、市区町村のホームページを検索してみてください。

市区町村名 HPV 予防接種 医療機関

検索

2. 予約を入れる



医療機関に連絡して、ワクチン接種の申し込みをしましょう。希望するワクチンの種類も必ず伝えてください。ワクチン予防接種予診表がない場合や、通知書に同封されていない場合は、病院に伝えておきましょう。

3. 病院に行く



病院に着いたら受付を済ませ、注意事項を確認の上、予診表に記入し体温を測りましょう。**※母子健康手帳(13歳以上の方は、接種済証、接種記録カードでも可)**と、予診表がある場合は持参してください。

4. 医師の問診



医師による問診がありますので、もし他のワクチン接種の予定がある場合や、これまでワクチン接種をした後に体調に異常があった方は、必ずお伝えください。

5. ワクチン接種



ワクチンを接種します。通常は座った状態で腕の筋肉に注射しますが、横になって打つこともできますので、医師に相談してください。接種後は30分程度、病院にて座って安静にさせていただきます。**※ワクチン接種は合計2回または3回必要ですので、次回の接種日も考えておきましょう。**

よくあるご質問

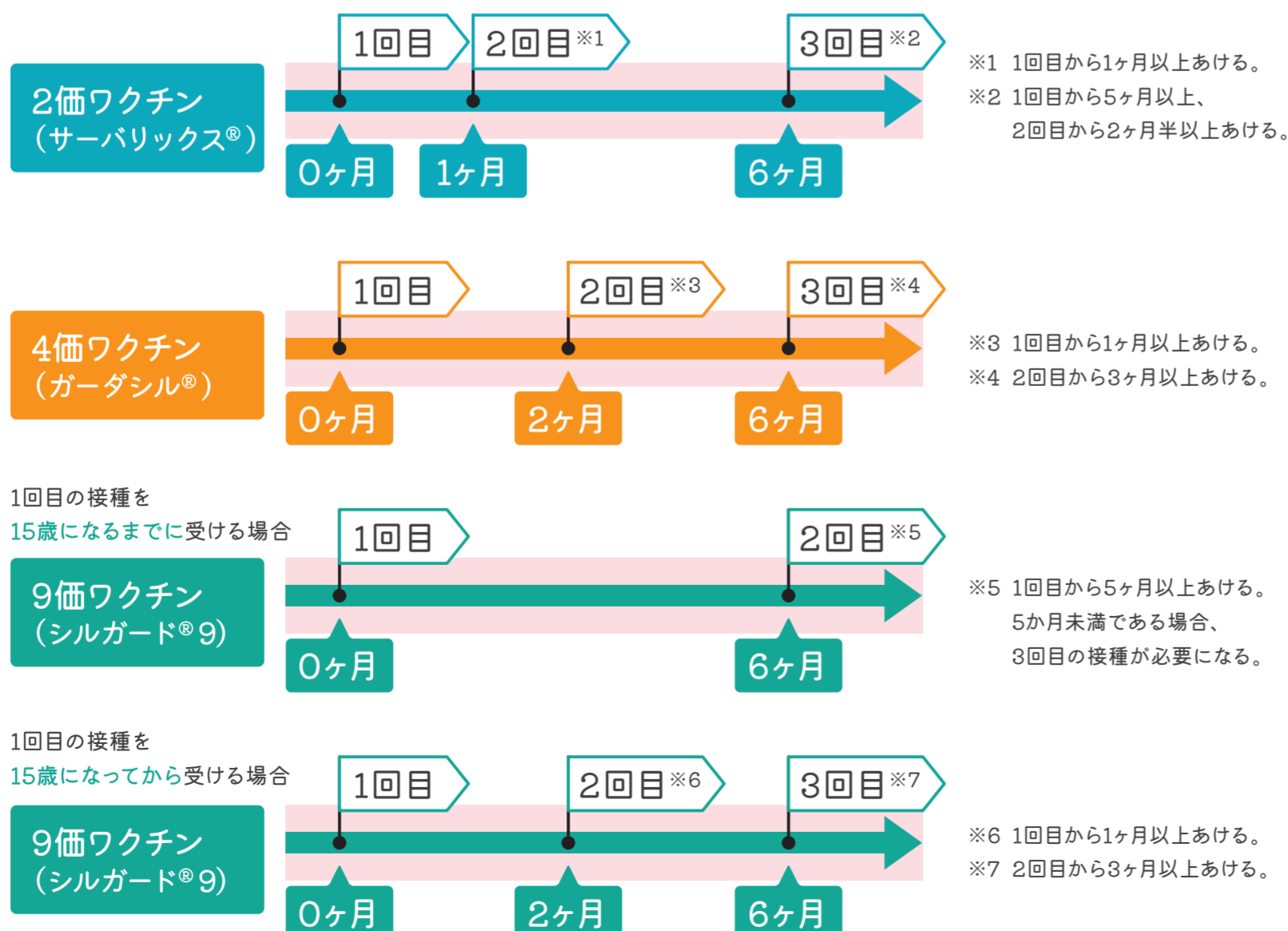
Q 接種券も母子手帳も実家です。実家に帰った時にしかワクチン接種できないの？

A ワクチン接種は、原則住民票を登録している市区町村において行うこととなっていますが、住民票のない地域に一時的にお住まいの場合でも、お住まいの市区町村で接種できる場合があります。詳しくはお近くの自治体にお問い合わせください。

その他のHPVワクチンに関するよくあるご質問は ▶ 厚労省HPのQ&Aページをご覧ください。



一般的な接種スケジュール



HPVワクチン接種とあわせて、20歳を過ぎたら定期的に子宮頸がん検診を受けるようにしましょう。

けい 子宮頸がん予防



+



HPVワクチンは、合計2回または3回接種します。接種するワクチンや年齢によって、接種のタイミングや回数異なります。どのワクチンを接種するかは接種する医療機関に相談してください。

詳しくは厚生労働省のホームページへ

厚労省 HPV

検索

